

洞爺湖町の
ジャガイモ
おいしそう♡



おいしい新米を求めて

9/6 たからだの里さいた

毎年恒例の「たからだ米」新米まつりが今年も盛大に行われ、大勢のお客さんにぎわいました。昼夜の寒暖差が大きい気候のもと、阿讃の峰から湧き出す水で有機減農薬栽培された新米は大人気！友好都市の洞爺湖町から送られたジャガイモやトウモロコシも販売され、どちらも飛ぶように売られていました。



みとよHOT ほっとNEWS

デイリー版ほっとニュースは
市ホームページで

栗島で世界を感じよう

世界最大級の国際通信社であるAP通信の報道写真展「A VIEW OF DAILY LIFE ~世界五大陸の日常風景~」が栗島で始まります。



▲1枚1枚、ていねいに展示します

地方都市では初めてとなるこの写真展。東京で開催中に写真展を見た島民の松田悦子さんが、島のにぎわいづくりのためにと栗島での開催を熱望したのがきっかけです。島には外国航路の船員だった人がたくさん住んでいることもあり、今回の写真展が実現しました。

アートで思い出づくり

8/23 萬島

青少年育成仁尾町民会議主催の「無人島で楽しいアート体験」が行われ、小学生と保護者138人が参加しました。

子どもたちは、イタリア出身の芸術家、ルカ・ローマさんにアドバイスをもらいながら、島に流れ着いた流木などを使って、グループごとに作品作りに奮闘。友達と協力した体験は、夏休みのよい思い出となりました。



「ドラえもんタイムマシーン」を作ったよ

生の迫力に大興奮！

9/7 浪打八幡神社

昨年に引き続き、第2回浪打の森ジャズフェスティバルが行われました。今風のコンサートホールではなく、畳敷きの会館で聴く生演奏は、演奏者との距離が近いこともあり迫力満点。訪れたお客さんは、誰もが耳にしたことのあるジャズの名曲や思わず口ずさんでしまうニューミュージックなどを楽しみました。

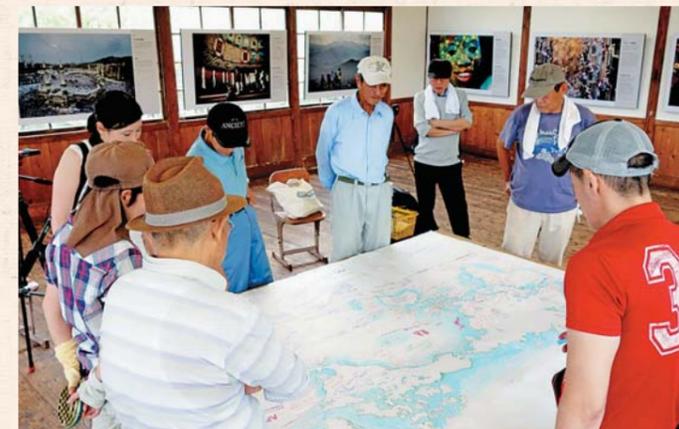


9月4日には、島民で結成された栗島ぼ〜い&が〜るの会の皆さんが、世界的に有名なフォトジャーナリストがカメラに収めた世界の文化やお祭りなどの写真56枚を、会場となる栗島海洋記念館に展示。皆さんは、会期中に訪れるお客さんに、写真の説明なども行います。



▲AP通信の津田さんがボランティアの皆さんに写真の説明をしてくださいました

また、今まであまり語られることのなかった、外国航路船員OBの体験談をまとめた企画展「僕らの思い出の国、思い出の港町」も同時開催。松田さんが船員OBの皆さんから聞いた思い出話などを書き込んで作成した世界地図を展示します。写真や地図を見て、世界の日常に思いをはせてみませんか。



▲世界地図のできばえも上々

AP通信報道写真展

A VIEW OF DAILY LIFE 世界五大陸の日常風景

同時開催
「僕らの思い出の国、思い出の港町」

日時 12月14日(日)まで
9:30~16:00(火・木 休み)

場所 栗島海洋記念館

問い合わせ

三豊コンシェルジュセンター
☎24-9231

